

(別紙4(2))

事業所名 にこやかハウス大谷

目標達成計画

作成日: 平成 30年 1月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(2)	地域住民との交流が行われていない。	大谷地区や小鹿地区の両方の地域住民との交流を深める。	・日本平花火大会の観賞。 ・片山公園の秋祭りの参加と出店。 ・大谷地区の防災訓練の参加。	12ヶ月
2	(4)	併設施設の管理者が主になって、運営推進会議の案内や集団指導の出席等を任せている。	運営推進会議等の案内を行う。	・運営推進会議の案内を行う。 ・市役所との連携を行う。	12ヶ月
3	(10)	カンファレンスは職員全員で取り組んでいますが、モニタリングは管理者と計画作成担当者の共同で、介護計画書は計画作成担当者と介護支援専門員で作成している。	職員全員の意見を取り入れる。	・リーダー研修への参加を勧める。	12ヶ月
4	(12)	現在、看取りになる対象者もなく、職員も看取りの経験もなく不安要素になっている。	看取りの考えを確認し、研修も行う。	・職員の看取りに対する考えを確認する。 ・看取りに関する研修を行う。	12ヶ月
5	(15)	利用者同士の反目もあり、席や手伝ってもらふ頻度も職員が気遣っています。	入居者同士が仲良くなり、協力してお手伝いの実施。	・おやつ作りの実施。 ・夕食時の盛り付けのお手伝いを行って頂く。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。